

「緩和ケア推進検討会」開催要綱

1. 趣旨

がん患者とその家族が可能な限り質の高い生活を送れるよう、緩和ケアをがんと診断された時から提供するとともに、診断、治療、在宅医療など様々な場面で切れ目なく実施することが重要である。

しかしながら、日本では未だがん性疼痛の緩和等に用いられる医療麻薬の消費量が少ないことや、がん医療に携わる医師が緩和ケアの重要性を十分に認識していないこと、国民に対しても未だ緩和ケアに対する正しい理解や周知が進んでいないこと等の課題が指摘されている。

本検討会においては、こうした課題や緩和ケアの現状を踏まえ、今後の緩和ケア対策について、俯瞰的かつ戦略的な対策等を検討し、今後の対策に反映していくこととする。

2. 検討事項

(1) 下記事項に関する具体的な対策

- ・がん診療に緩和ケアを組み入れた診療体制の構築
- ・がん性疼痛の克服
- ・緩和ケアチームや緩和ケア外来等の診療機能の向上
- ・在宅緩和ケアの質の向上や医療連携の推進

(2) その他、緩和ケアの充実に向けた具体的な対策について 等

3. その他

- (1) 本検討会は健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、原則として公開とする。
- (5) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

「緩和ケア推進検討会」 構成員名簿

池永 昌之	淀川キリスト教病院ホスピス科 部長
岩瀬 哲	国立大学法人東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部 副部長
大西 秀樹	埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍学 教授
小川 節郎	日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野 教授
加賀谷 肇	済生会横浜市南部病院薬剤部 部長
木澤 義之	国立大学法人筑波大学医学医療系臨床医学域 講師
小松 浩子	慶応大学看護医療学部慢性臨床看護学 教授
田村 里子	東札幌病院診療部 副部長
恒藤 暁	国立大学法人大阪大学医学部緩和医療学 教授
中川 恵一	国立大学法人東京大学医学部附属病院放射線科 准教授
花岡 一雄	JR 東京総合病院 名誉院長
前川 育	特定非営利活動法人周南いのちを考える会 代表
松月 みどり	公益社団法人日本看護協会 常任理事
松本 陽子	特定非営利活動法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
道永 麻里	社団法人日本医師会 常任理事
武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会 理事長

(五十音順・敬称略)